

Galileo 4K

Galileo 4Kは従来のGalileoの「トーン」ノブを独立した「トレブル」と「ベース」ノブに分割し、より精密なコントロールと音色オプションを実現しました。
Galileoを初めてお使いになる方へ：これはBrian Mayのギターサウンドへのオマージュであり、全開のAC30アンプに接続したRangemaster Treble Boosterの雄大なトーンを再現しています。

かつて、ギタリストにとってもっとも刺激的なことといえば、アンプのゲインを上げることでした。アンプのゲインが足りない時、トレブルブースターがそのアンプをプッシュしました。
トレブルブースターを使い、伝説となるトーンを築き上げた2人のギタリストに注目してみます。Brian May (Vox AC30+トレブルブースター) とTony Iommi (Laney Super Group+トレブルブースター) です。2人のサウンドは全く違うものですが、音作りの手法はほとんど同じです。両者とも、アンプのゲインを上げ、さらにトレブルブースターを常時ONにしています。そして音色の調整は、ギターのVolumeとToneのみで行っていたのです。
Catalinbreadでは、この美しくシンプルな構成を1つのペダルにまとめたペダルの開発をはじめました。“Amp-in-a-box”と、最適に調整を施したトレブルブースター回路をまとめるのです。使いこなせば最高の音色であるにもかかわらず、その扱いの難しさから敬遠されることもあるトレブルブースターも、こうすることで、そのバランスに気を使うことなく、音量が上がりすぎることもなく、常に最高のトーンが得られるようになります。ペダルを接続し、ただ弾くだけで“あの音”が甦ります。
そうして生まれたのが、Catalinbread Galileo と Sabra Cadabra なのです。
Vox AC30とトレブルブースターの間には、特別な“何か”があります。トレブルブースターでAC30をヒットすると、打てば響くように最高の音になります。ミッドレンジは極上の歪みを作り、ハーモニクスが美しく混ざり合います。ギターのヴォリュームを下げれば、Voxアンプ特有の世界がさらに広がります。それはアグレッシブで怒号のようなサウンドでありながら、鐘の音のような響きを同時に持っています。その説得力のあるサウンドを、Catalinbread Galileoは作ることができます。
Brian Mayのトーンは、長年多くのプレイヤーによって研究されてきました。Dallas RangemasterとVox AC30の組み合わせは、その中でもスタートラインであり、AC30やRangemasterを持たないプレイヤーがその音を作るのは困難とされてきました。
Catalinbread Galileoが、その困難を打ち砕いて見せました。このペダルが、適正に設定されたRangemasterとAC30のトーンをまとめ、まさにBrian Mayのトーンを出力します。

AC30のブリアンプ回路は、真空管をJFETに変え、そのままGalileoにも搭載されています。そして、完全にチューニングされたレンジマスタースタイルの回路が、そのブリアンプ回路をヒットします。これがBrian Mayトーンの秘訣です。2つの回路が化学反応を起し、ミッドレンジジャングルのような複雑なアンプトーンとなって出力されます。

Controls

Gain	Gain量をコントロールします。
Trwble	高音域をコントロールします。
Bass	低音域をコントロールします。
Volume	音量をコントロールします。

電源

電源：9-18V DCセンターマイナス
消費電流：5mA

Galileo 4K

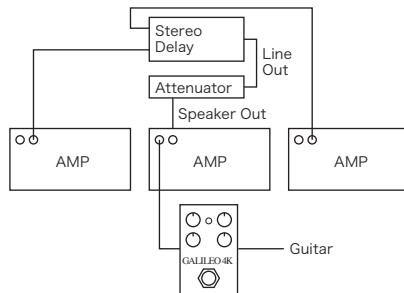
さらなるBrian Mayトーンを求める方へ

Brian Mayのトーンは、市販のAC30とレンジマスターペダルをただ接続しただけではなかなか得られるものではありません。Galileoは、Brian Mayのトーンを、これまでの多くのペダルからさらに1歩踏み込んで再現していますが、もっともっとBrian Mayのトーンに近づけるためのセットアップがあります。

※ここからはディープな世界です。

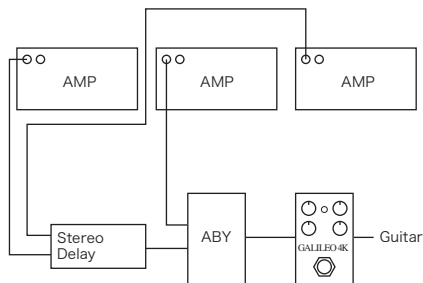
どうしてもBrian Mayと全く同じ音が出たいというプレイヤー以外には不要な情報です。

まず、Brian Mayのセットアップを考えます。彼はAC30を3台用意し、そのうち2台はそれぞれコーラス用、ディレイ用と分け、シグナルを3つにスプリットして使用しています。このセットアップで、常にレンジマスターをONにしておき、Queenの壮大なリードトーンを作ります。そしてBrian May Red SpecialとBrian May本人のピッキングが組み合わさることで、あのトーンが得られます。完全に同じ機材が入手できるのであれば何も考える必要はありませんが、そうでない場合でも、一般的なギター、クリーンなアンプ3台とGalileo、スプリットアウトの可能な機器、およびステレオディレイで、伝説のトーンに近づけることができます。



Brian Mayのトーンを作る方法は1つではありません。それぞれのお好みやギター、アンプに合わせさらなる模索を続けていただければと思いますが、ここに1つの例を挙げてみます。

まず、ギターからGalileoに接続し、そこから中央のアンプへと出力します。アンプのパワーアンプとスピーカーアウトの間にアッテネータを挟みます。アッテネータは出力を下げるためではなく、信号の分岐に使用します。そしてステレオディレイペダルへとラインアウトを行い、ディレイのアウトプットから残りの2台のアンプへと信号を出力します。ディレイは800ms程度のピンポンディレイで、ドライ音は出力しない設定にします。



もう少しシンプルな使い方も可能です。例えばスプリットアウトの出来る機器を使い、Galileoの信号をアンプとディレイに分け、ディレイでさらに2台のアンプを使うことでも同様の音色を作ることができます。どうしても3台のアンプを用意できない場合は、2台のアンプで代用することもできます。上記のセッティングで、シグナルをスプリットせずにGalileo→ステレオディレイと繋げ、ディレイのドライシグナルを出力する設定にすれば、ピンポンディレイの左右出力とドライシグナルのセンター出力で代用することはできます。ですが、ドライ用とディレイ用のアンプを分けていないため、明瞭さは失われます。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>



catalinbread
MECHANISMS OF MUSIC

WARRANTY POLICY

この度はCatalinbread製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 — 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
 - 2 — 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - 3 — 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取り扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
 - 4 — 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
 - 5 — 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
 - 6 — 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-